

## 「令和8年度学校給食パン・炊飯委託加工賃交渉」 県パン協同組合へ パン・炊飯委託加工賃を回答書を手交



令和8年3月6日(金)午後1時50分より、秋田県学校給食会2階会議室において、秋田県パン協同組合から昨年12月4日付けで要望があった来年度のパン・炊飯の委託加工賃の改定要望について、本会の七尾尊志理事長から秋田県パン協同組合武藤真人理事長へ回答書を手交した。

県パン協同組合からは、武藤理事長、渡部理事、高山事務局長が出席、本会からは七尾理事長、栗林常務理事、伊藤物資係長が出席した。

原材料費・光熱水費や人件費(最低賃金の大幅アップ)等の値上げ、児童生徒数の減少など経営を圧迫する状況が続いており、学校給食への影響も大きいと予想されるが、昨年12月より計4回に渡り、双方で協議を重ね、最終合意に至った。

また、本会からはパンの異物混入について今年一年間の異物混入事案の一覧表を示しながら、今後の異物混入防止に向けてパン製造ラインの昆虫対策、清掃強化等、いっそうの具体的な対策を推進し混入事案の解消に努めていくよう求めた。

令和7年度は3月6日現在で、パンに関する異物混入等のクレームを整理すると、昨年度比+7件の計28件であった。

さらには、これからの暖かくなる季節には、冬眠明けのクマの出没等も危惧されることから、給食用物資配送時のドライバーの安全確保、事故発生時の緊急時の対応についてのマニュアルを提案し、安全な配送に向けて取り組んでいくことを確認した。